

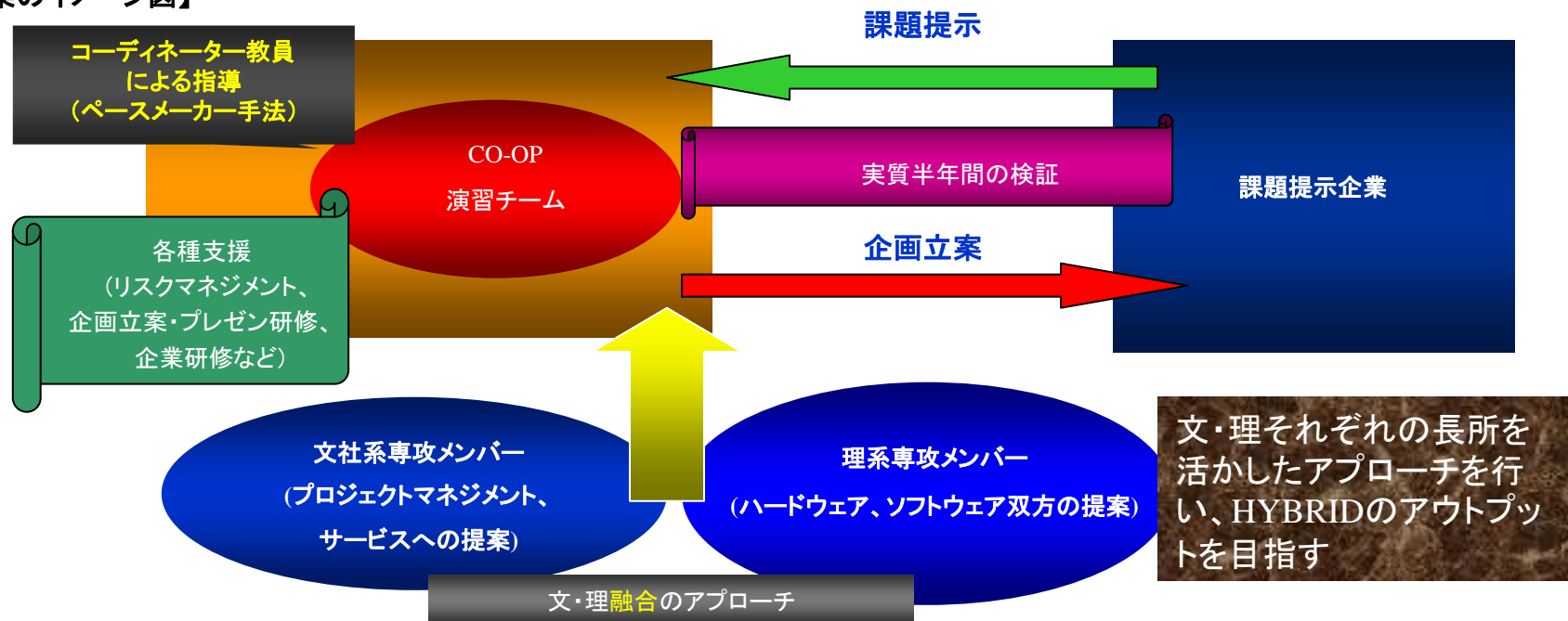
立命館大学

取組名称: コーオプ演習(課題解決型長期インターンシップ)

【取組概要】

文理融合の大学院生、学部生の混成チーム(5名を基本)による、企業が抱える現実課題の解決(企画立案)に挑戦する問題発見・課題解決型長期インターンシップ(約6カ月)。①通いを前提とせず、長期ながら受入企業に負荷をかけないプログラム、②大学院生の専攻学問と課題をリンク、の両面から日本型コーオプ教育として国内外に情報発信している。

【事業のイメージ図】



【成果等】

- (1) 5年間で9研究科、9学部から、のべ291名の学生が参加し、のべ30社と連携。課題数も49にのぼる。
- (2) 成果(企画立案)の一部は、現在、特許申請手続き中。また、多くの成果が現実に採用されている。
(例:採用システムや、広報ツールの改良等)
- (3) 世界で唯一の産学連携教育に関する国際学会、世界コーオプ教育協会(World Association for Cooperative Education、WACE)に2004年度から継続的に成果(主に教育手法と評価手法)を発表し、国際的に高い評価を受けている。

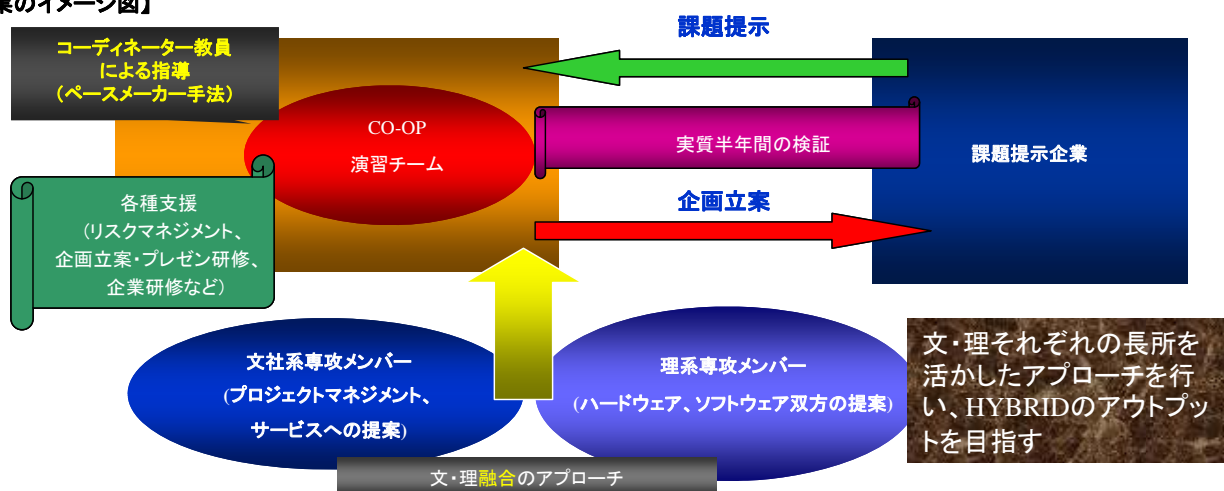
産学連携による実践型人材育成事業 ー長期インターンシップ・プログラム開発ー
最終評価結果

大 学 名	立命館大学
教育プロジェクト名称	文理連携型コオプ教育(総合大学モデル)
事業責任者	取組代表者 学長 川口 清史 取組責任者 常務理事(教学担当) 中村 正

事業概要

文理融合の大学院生、学部生の混成チーム(5名を基本)による、企業が抱える現実課題の解決(企画立案)に挑戦する問題発見・課題解決型長期インターンシップ(約6カ月)。**①**通いを前提とせず、長期ながら受入企業に負荷をかけないプログラム、**②**大学院生の専攻学問と課題をリンク、の両面から日本型コオプ教育として国内外に情報発信している。

【事業のイメージ図】



最終評価結果

(総合評価) **A: 所期の計画と同等の取組が行われた**

コメント

《優れた点》

1. 通常のインターンシップでは難しい文理融合のチームを編成し、企業から提示された課題への解決策を企画・立案し、企業に提示して企業人と討議するという方式は、領域の異なる履修生の示す多様な見方、考え方を相互に学ぶとともに、自立性やリーダーシップの涵養にも有益なものと評価できる。また、対象企業も多くの業種に亘り、知識の幅の拡大にも有功に資するものとする。

《改善を要する点》

1. 企業人と討議する期間が非常に短く、企業側の思考や価値観を学ぶには不十分であるとする。また、企業秘密の壁があることは理解するが、企業からテーマの提供を受ける前に、その企業の問題点について把握するステージから参加することが、より効果的な成果を生むのではないかと。
2. 近年、企業側から育成の要望が増えている理工系人材については、現在の方式よりも、よりテーマを絞り込み、企業派遣を含めたより長期のインターンシップが必要であり、今後の工夫が必要と判断する。